

人権とんだ

8月号

令和7年(2025)

No. 557

《問い合わせ》
健康福祉部 人権共生推進課
TEL: 559-5148 FAX: 563-7776
E-mail: jinken_u@city.sanda.lg.jp

三田の戦争を知る

戦後80年に向けた市長メッセージ

80年前、日本は戦争という悲劇から新たな一歩を踏み出しました。私たちは日本国憲法のもと、戦争という過ちを二度と繰り返してはならないという強い決意で平和を願い、全世界に反戦・反核を訴え続けてきました。

三田市においては、平成元年(1989年)に非核平和都市宣言を行い、世界平和の実現に向け不断の努力を続けることを内外に発信してまいりました。

また昨年は、核兵器廃絶を願う被爆者の声を、長年にわたって世界に発信し続けてきた活動が評価され、ノーベル平和賞に日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)が選ばれました。このことは反戦・反核を訴え続けること

の大切さを示しており、私たちはそれを世界の大きなうねりへとつなげていかなければなりません。

平和とは、互いを尊重し、互いの違いを受け入れ、対話を通じて共に未来を築くことであり、その実現には私たち一人ひとりの努力が必要不可欠です。

戦後80年の節目に、あらためて平和の大切さを再認識し、戦争という過ちを二度と繰り返してはならないということを強く訴え、未来へ向けても訴え続けるということを決意し、平和への心からのメッセージとします。

三田市長 田村克也



(表紙写真) 三輪会館の半鐘

この穴は機銃掃射の銃弾が貫通したものである。反対側の穴との高低差が1.5cmしかなく、かなりの低空飛行からの銃撃であることがわかる。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

80年前、三田にも戦争が！

NPO 法人歴史文化財

ネットワークさんだ

池田洋介

かつて三田にも空襲があり、大きな被害を受けました。三田での戦争について、被害者からの聞き取りや、残された記録からお伝えします。

三輪の空襲

今から80年前のできごとです。ジリジリと照りつける真夏の日差しの中、市民は仕事に学びに励んでいました。終戦間近の昭和20年7月19日午前11時20分頃、突然、米軍戦闘機グラマン二機が三田上空に現れ、低空で国鉄（現在のJR）三田駅や三輪周辺など三田の中心部を襲いました。三輪小学校（当時の国民学校）など、市内の小学校では空襲警報を受けて、児童を下校させているところでした。この二機による攻撃は、三田の軍需施設や三田駅周辺に停まっている車両を狙い、機銃掃射で襲うものでした。これにより下校中の三輪小学校の児童4人と女性1人が犠牲となりました。

銃撃により児童のうち3人は路

上で即死し、1人は三輪小学校・講堂付近で死亡、農作業中の女性は頭部を撃たれ即死しました。桑原周辺では爆撃による火災が発生し、民家四軒が全焼しました。町中が動転し、今まで走り回っていた子どもや元気なお母さんが突然亡くなり、悲しみと怒りで震えました。米軍機はなぜ田舎町の人命まで奪ったのか？米軍機による無差別攻撃に怒りをおぼえたのは当然でしょう。当時の小学生は現在では90歳前後ですが、米軍機に襲われて溝に隠れたこと、襲われた飛行機に操縦者の顔がはっきり見えたことなど恐怖の記憶を話されます。三輪の中嶋義秋さんはこの体験を『三田三輪 空襲権災記』（『三田市史』第六巻近代資料Ⅱに所収）として詳しく書かれています。この当時の状況がよくわかります。この銃撃により撃ち抜かれた町役場の半鐘（表紙写真参照）が、今も三輪会館に残り、そのすさまじさを伝えています。

高平に飛行機墜落

三輪の空襲と同じ日、日本の戦闘機が高平で墜落炎上し、搭乗員の中尉が亡くなりました。これは、神戸三田方面への米軍の襲来を

知った日本軍が迎撃のため、八尾飛行場から戦闘機を飛び立たせ、三田上空で応戦し、米軍機により撃墜されたものです。その跡には慰霊碑が建ち、追悼歌が刻まれています。

このころの戦況

この年6月には沖縄の壮絶な戦いが終わり、日本周辺のマリアナ諸島や硫黄島などが陥落しB29など米軍機による空襲は、東京や大阪などの大都市から、地方都市へも及び、日本全土が焼土化しつつありました。三田は大阪、神戸の近郊として軍需品の疎開工場があり、狙われたものと思われま

三田小学校のヒマラヤ杉

三田小学校高等科を卒業した中西定雄さんは、海軍航空隊に出征し、昭和19年、サイパン島



三田小学校伊近くにあるヒマラヤ杉

付近で米軍と戦い、アメリカ航空母艦に体当たり攻撃し戦死しました。彼が出征前、平和を願い、母に託した初任給で植えられたのが大木になったヒマラヤ杉で、今も三田小学校の児童を見守っています。

あとがき

私事で恐縮ですが、私もこの戦争で父を失っています。生まれ故郷の奈良県吉野の山村でも、この三田の状況と同じで、幼心で見た、あるいは体験した状況が思い出されます。幼少期に戦争を体験した私たち世代も大変でしたが、今思うと、我々の親世代の戦争による苦しみは、兵役、戦災、死別、貧苦、戦後復興など、はるかに重いものでした。戦争への憎しみとともに、現在の平穏な生活の中で暮らせることへの感謝と尊敬の念を忘れることはありません。

一方でウクライナやガザなど未だ絶えることのない戦争に人間の愚かさを感じ、一日も早い平和を望む今日このごろです。



平和を考える市民のつどい

～戦後80年、非戦の誓いを次世代につなぐ～

【場所】 三田市総合福祉保健センター
(多目的ホール)

【日時】 8月3日(日) 13:30～16:00

- ・ 講話「次の世代へ語り継ぐ
三田の戦争・平和の尊さ」
三田市遺族会青年部
副部長 坊野 祥子さん
 - ・ 三田少年少女合唱団による平和の歌
 - ・ 「平和を願う想いをつなぐ、
ヒロシマから世界へ
被爆体験伝承講話」
被爆体験伝承者(広島市認定)
鎌田 真さん
 - ・ 平和の鐘を鳴らそう！
- 【定員】 先着200名
・ 当日参加も可能です

三田市非核平和都市宣言(全文)

平和 -それは全人類共通の願いです。

私たちは、戦争の悲惨さ、残酷さを決して忘れてはなりません。

しかし、世界各国では今なお武力紛争が絶えず、軍拡競争は恐るべき核兵器を次々と生み出してきました。たび重なる核実験による環境破壊は地球規模に達し、さらに核開発は宇宙空間にまで及ぼうとしています。今や核戦争を防止し、すべての核兵器を廃絶することは、人類の存亡にかかわる最も緊急で重要な課題です。

ここに三田市は、核兵器の廃絶と軍縮を全世界に訴えるとともに、世界平和実現に向かって不断の努力を続ける非核平和都市であることを宣言します。

平成元年3月28日 三田市

戦後80年 光り輝く未来へつなぐ

“折り鶴プロジェクト”

戦争のない平和を願う想いを伝えよう！

おりがみを配布します。

作成した折り鶴は、ボックスに入れてください。

いただいた折り鶴は千羽鶴にして、

イベント、展示などで活用し、

みなさんの平和を願う気持ちを届けます。

場所：市役所1階ロビー・有馬富士共生センター・
図書館本館

期間：8月29日(金)まで

※ 土日祝は除く。(市役所)

※ 休館日は除く。(有馬富士共生センター・
図書館本館)

平和を考える市民のつどい実行委員会

令和6年度 人権ポスター・標語受賞作品



ゆりのき台小学校5年(前年度)

益岡 優愛さん

● 雨降りの
あの子のところに
君のかさ

● 八景中学校3年(前年度)
森 菜々美さん

大きくなった被爆アオギリ二世

「被爆アオギリ二世」とは？

昭和20年8月6日、爆心地から1.3km離れた広島通信局(現在の日本郵政グループ広島ビル)の中庭にあったアオギリは、熱線と爆風をまともに受け、枝葉がすべてなくなり、幹は爆心側の半分がえぐられ、枯れ木同然となりましたが、翌年の春になって芽吹き、被爆と敗戦の混乱の中で虚脱状態にあった人々に生きる勇気を与えました。その後も、毎年種を实らせ、この種から育てた苗木を「被爆アオギリ二世」と名付け、今も修学旅行で広島平和記念公園を訪れた学校等に配布されています。三田市で育っているアオギリは、この「被爆アオギリ二世」です。



三田市総合福祉保健センター(西側広場)

三田幸せプロジェクト 8月23日(土)

～明るい未来へ～

手話通訳
要約筆記
一時保育
要予約

全体テーマ「あなたに伝えたい 私のこころ」

会場	午前の部 (10:00 ~ 12:00)	午後の部 (13:30 ~ 15:30)
三田市総合福祉保健センター (多目的ホール)	① 高齢者の人権について考える 「認知症ケアで大切にしていること」 ～家族の変化に気付く 思いを知る 寄りそう～ 社会福祉法人きらくえん 岩城 伸哉さん 三田きらくえん地域ケアセンター 小川佐夕里さん	③ 多文化共生について考える 「外国人も暮らしやすい三田をめざして」 ～身近な日常生活のさまざまな場面から考える～ パネルディスカッション パネラー ベトナムから来られた人 その支援にかかわっている人
ウッドイタウン 市民センター (大集会室)	② 子どもの人権について考える 「子どもの人権を守るために」 ～家族まるごと支援の現場から～ 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 茂木美知子さん、園田美恵子さん	④ 部落差別について考える 「好感・共感・親近感が人権力を育む」 ～人権・同和教育のさらなる創造をめざして～ 関西外国語大学学生部学生相談室長 子育て教育・人権研究所長 明石 一朗さん



- ・どなたでも参加できます。当日、各会場にお越しください。
- ・各会場には駐車場がありますが、台数に限りがあり混雑が予想されますので、できるだけ乗り合わせをするか公共交通機関をご利用ください。
- ・当日午前7時の時点で、三田市に気象警報（大雨・洪水・暴風など）が発表されている時は午前・午後とも開催を中止します。開催についての情報は市ホームページに掲載します。

【申込方法】右記二次元コードからお申し込みください。（締切 8月13日(水)）

<https://logoform.jp/form/hyogo-sanda/1128832>

（電話・FAXでのお申し込みも可能です）

手話通訳、要約筆記、一時保育の申し込みも、8月13日(水)までをお願いします。



令和6年度
ラブピース4コマまんが受賞作品
「アンコンシャスバイアス
～無意識の思い込み～」



八景中学校3年（前年度）

川岸 心桜さん

◆問い合わせ先：主催：三田市人権を考える会（事務局：人権共生推進課）

TEL：559-5148 FAX：563-7776

後援：三田市・三田市教育委員会

- ・8月27日(水)～9月2日(火)
- ・は、「こどもの人権相談」強化週間として、相談受付時間を延長しています。

（相談ダイヤル）

*全国共通・無料

TEL 0120-007-110

- ・平日は午後7時まで延長し土日でも受付しています。
- ・（土日は午前10時から午後5時まで）

〈問い合わせ先〉神戸地方法務局人権擁護課 TEL：078-392-1821（代表）



くらしの人権相談

TEL 559-5062 FAX 559-5063
月曜～金曜 9時～17時（※祝日・年末年始を除く）

専門相談員による性的マイノリティ特設電話相談（予約制）

TEL 559-5062 FAX 559-5063
月曜～金曜 9時～17時（※祝日・年末年始を除く）
※専門相談員との相談日は予約後に調整

人権擁護委員会による定例人権相談（予約制）

TEL 559-5148 FAX 563-7776
《次回相談日》8月28日(木) 13時～16時

人権さんだアンケート
ご感想や今後取り上げてほしいテーマをお寄せください。

